

ひまわり学級 生活単元	おいしいカレーを作ろう	ひまわり①
目 標	カレーライスの作り方の手順を完成させながら、自分たちおいしいカレーを作ることができる。 (思考力・判断力・表現力)	
使用した ICT 機器類・教具等	タブレット端末	
思考ツール・プログラミング	フローチャート	

◆プログラミング的思考とのつながり

- ・フローチャートを用いることで、考えを整理し、カレーを作る手順を、可視化して考える

◆授業の実際

1 ひまわり学級のみんなで考えたカレーの作り方を確認する

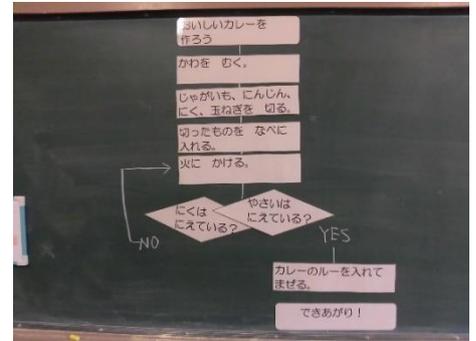
- カレーの作り方を尋ねてみると、野菜を切ること、鍋でゆでること、カレールーを入れることを確認できた。A 児は、レトルトのカレーの作り方しか知らなかったが、B 児やC 児の考えを聞き、カレーの作り方を確認することができた。
- フローチャートを用いて子どもたち各々の考えを整理して、順序立てながらまとめることで、理解を促すことができた。

2 カレーの作り方の手順を確認しながら、カレーを作る。

- 自分たちで考えたカレーの作り方を表したフローチャートを確認しながら、カレーを作った。包丁を用いて野菜を切る場面では、教師が手を添えながら、安全に十分注意し、上手に切ることができた。
- 一人一人が野菜を切る体験をすることを通して、包丁の使い方や野菜の切り方を学ぶことができた。A 児は教師の見守りで、にんじんを一人で切ることもできた。
- フローチャートを見ながら切った野菜を鍋に入れた。野菜の皮や切れ端をきれいに片づけたり、友達の作業を座って応援したりしていた。

3 「おかしいな」と思うところで、フローチャートを修正し、正しいカレーの作り方を確認する。

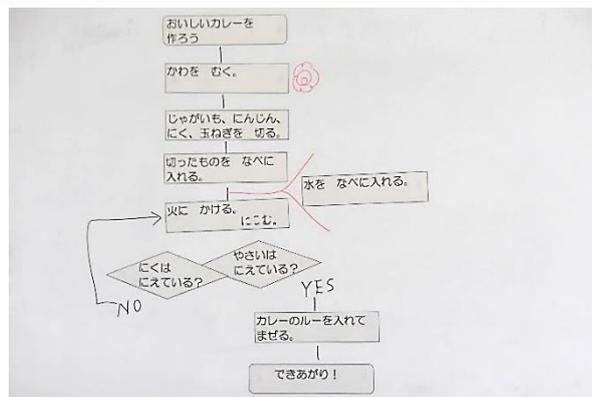
- 野菜を切り、鍋に入れ終えたとき、フローチャートを見ながら確認すると「鍋を火にかける」だったが、このまま火にかけてカレーができるのかと問いかけると、子どもたちから「水を入れないといけない」と気づくことができた。
- カレールーを入れる前に、C 児が野菜が煮えているかどうかを確認した方がよいことに気づき、「まだかたいからもう少し煮た方がいいよ」と他の子に知らせることができた。最後に火を止めてカレールーを入れて、おいしいカレーを完成することができた。



[自分たちが知っている作り方を確認]



[手順を確認しながらの調理]



◆実践を通して

- ・カレーの作り方の手順をフローチャートで可視化することで、自分の考えと友達のを整理しながら、正確に手順を確認することができた。

